



Espacenet

Bibliographic data: JP 2003515384 (A)

FIXATION TECHNOLOGY

Publication date: 2003-05-07

Inventor(s):

Applicant(s):

Classification:

- international: **A61B17/16; A61B17/56; A61F2/00; A61F2/28; A61F2/30; A61F2/46; A61L27/00; A61B17/00; A61B17/32; A61B19/00; A61F2/02; A61F2/38;** (IPC1-7): A61B17/16; A61B17/56; A61F2/28; A61L27/00
- European: A61B17/16H; A61B17/16R; A61F2/00H; A61F2/30C; A61F2/46B12

Application number: JP20010541430T 20001204

Priority number (s): GB19990028569 19991203; GB20000015640 20000627; GB20000027394 20001109; WO2000GB04624 20001204

Also published as:

- JP 4675018 (B2)
- WO 0139694 (A2)
- WO 0139694 (A3)
- US 2003135209 (A1)
- US 7427254 (B2)
- more

Abstract not available for JP 2003515384 (A)

Abstract of corresponding document: WO 0139694 (A2)

The invention relates to a method for the repair of damaged tissue present at or on the surface of bone in an animal, the method comprising forming a narrow groove around at least part of said damaged tissue, which groove extends into the bone below the damaged tissue, replacing the tissue around which the groove extends by at least one layer of biocompatible replacement material, and anchoring the material to the bone by the use of retaining means extending from the material into the groove; instruments for use in the repair of damaged tissue and kits comprising said instruments. The invention relates to a method for the repair of damaged tissue present at or on the surface (5, 27) of bone in an animal, the method comprising forming a narrow groove (7, 25) around at least part of said damaged tissue, which groove extends (7, 25) into the bone (3, 29) below the damaged tissue, replacing the tissue around which the groove (7, 25) extends by at least one layer of biocompatible replacement material (9), and anchoring the material (9) to the bone (3, 29) by the use of retaining means (11) extending from the material (9) into the groove (7, 25); instruments for use in the repair of damaged tissue and kits comprising said instruments.

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年12月24日(2010.12.24)

【公表番号】特表2003-515384(P2003-515384A)

【公表日】平成15年5月7日(2003.5.7)

【出願番号】特願2001-541430(P2001-541430)

【国際特許分類】

A61F 2/28 (2006.01)

A61B 17/16 (2006.01)

A61B 17/56 (2006.01)

A61L 27/00 (2006.01)

【F I】

A61F 2/28

A61B 17/16

A61B 17/56

A61L 27/00 F

A61L 27/00 G

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年11月5日(2010.11.5)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 骨部位において損傷を受けた軟骨を修復するための1組の器具であって、

修復されるべき損傷を受けた軟骨を囲むように、該骨部位に又は該骨部位の表面上に狭い溝を形成するためのリーマ装置であって、該装置は、

一端に切削刃を有する管と、

該リーマ装置をガイドするために該管の内部に載せられたガイドロッド及びガイド円筒と、

該損傷を受けた軟骨に係合し、これにより、該リーマ装置の該切削刃によって形成された該狭い溝の位置を決定するための該ロッドの一端における先端と

を含む、リーマ装置と、

該狭い溝によって囲まれた損傷を受けた軟骨を取り出し、これにより、交換材の布パッドがフィットされ得る空間を規定する軟骨取り出し装置であって、該軟骨取り出し装置は、該リーマ装置に対して別個の器具である、軟骨取り出し装置と、

該軟骨取り出し装置と協働するために該狭い溝において係合可能なガードであって、該ガードは、該リーマ装置に対して別個の器具である、ガードと、

交換材の該パッドを該骨部位に保持するように、該骨部位に対して布の保持用シートに係留するための管状プッシャー装置であって、該プッシャー装置は、該リーマ装置に対して別個の器具であり、それが該溝の中に押し込まれることを可能にするために十分薄い壁厚を有し、そして、該布シートの一部分を該狭い溝の中に押し込み、これにより、交換材の該パッドを適所に保持するように動作可能である、管状プッシャー装置と

を含む、1組の器具。

【請求項2】 前記軟骨取り出し装置が、削り取り装置を含む、請求項1に記載の1

組の器具。

【請求項3】 前記軟骨取り出し装置がワイヤーブラシである、請求項1に記載の1組の器具。

【請求項4】 前記ワイヤーブラシがガイド手段を備える、請求項3に記載の1組の器具。

【請求項5】 前記保持用シートを固定し、修復されるべき領域への交換材の前記パッドの適用を円滑にするために、前記管状装置が該管状装置のそばに滑らせることが可能に載せられた保持リングをさらに含む、請求項1に記載の1組の器具。

【請求項6】 損傷を受けた軟骨が取り出された領域への交換材の適用を円滑にするために、前記管状装置が前記保持用シート及び交換材の前記パッドに事前に装着されている、請求項1に記載の1組の器具。

【請求項7】 前記軟骨取出し装置が、支持部品上に回転可能に載せられた切削先端部を含む、請求項1に記載の1組の器具。

【請求項8】 前記支持部品が軸部である、請求項7に記載の1組の器具。

【請求項9】 前記切削先端部の最下表面が実質的に平坦である、請求項7に記載の1組の器具。

【請求項10】 前記軟骨取り出し装置は、支持部材上に回転可能に載せられた先端部を含み、該先端部は、少なくとも1つの突起物を含む、請求項1に記載の1組の器具。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0015

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0015】

スミスとネフュー（Nephew）により提案された手順には、吸収可能な布上での同種軟骨細胞培養によって形成される軟骨円板の作製が関与する。この円板は実験室で増生し、生体吸収可能な材料、通常、ポリグリコール酸の不織布メッシュのマトリックス上で同種の軟骨細胞が培養される。この手順が完了する場合、修復部位での移植に円板が供給される。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0053

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0053】

交換キットは、本発明の1組の器具ならびに少なくとも1つの交換要素および保持用手段を備え得る。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0080

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0080】

添付図面の図6を参照すると、いったん、損傷を受けた軟骨が取り出されると、損傷を受けた軟骨に以前占有されていた空間を満たすのに適当な形状の補綴パッド35がその空間に設置される。次いで、管状形状のさらなる用具、プッシャー37を用いて、補綴パッドを骨29に係留する。管状プッシャー37は、溝25の中に押しこまれることが可能のように十分薄い厚みの壁を有する。これを達成する前に、パッド35の数倍の直径の円形の繊維網39（不織布から成る）のシートを、周辺の健全な軟骨上にも広がるようにパッドの上に置く。次いでプッシャー37を溝25に導入し、網39の外側部分とともにそれ

(3)

を運ぶ。網 3 9 の外側の端が完全に溝 2 5 に押し込まれるまで、プッシャー 3 7 は溝 2 5 をさらに移動する。次いで、プッシャー 3 7 は、溝 2 5 に詰めこまれた網 3 9 から離れて取り出される。補綴材で形成されようと、最終的には新しい軟骨で形成されようと、パッドが、それ自体下にある骨 2 9 及び周辺の健全な軟骨 2 7 の双方に固定されるときまで、網 3 9 はパッド 3 5 を適所に保持する。被覆用シートの布は、溝の中でそれを介して骨及び組織が増生できるように穴を有してもよく、このように、被覆シートをさらに固定する。